

成蹊学園に英国ケンブリッジ大学ペンブルック劇団が来校
シェイクスピア英語劇「ロミオとジュリエット」公演 &
小学校、中学高等学校、大学の在校生とのワークショップ・授業内交流
取材のご案内

拝啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

学校法人成蹊学園(東京都武蔵野市)では、9 月 20 日(火)から 27 日(火)の間、英国ケンブリッジ大学ペンブルック劇団を招き、シェイクスピア英語劇「ロミオとジュリエット」公演をはじめ、小学校・中学高等学校・大学の在校生とのワークショップ・授業内交流を行います。

この企画は本学園の国際教育センターが、成蹊学園全体の国際文化交流の一環として 2007 年から実施しており、今年で 10 年目となります。

シェイクスピア作品を本学と親交の深いケンブリッジ大学の学生劇団を招き上演するだけでなく、舞台をより分かりやすく、興味深く鑑賞できるよう作品について解説する講演会を開催します。

またこの期間、本学園の在校生とのワークショップや授業での異文化交流も実施されます。

敬具

記

【公演】

演目：「ロミオとジュリエット」※通訳・字幕なし

英国ケンブリッジ大学ペンブルック劇団

日時：9 月 25 日（日）13：30～15：30（開場 13：00）

場所：大学 4 号館ホール

申込方法：成蹊学園国際教育センターホームページをご確認ください。

<http://siis.seikei.ac.jp/shakespeare/>

【事前講演会】

一舞台をより分かりやすく、興味深く鑑賞できるよう作品について解説します。

テーマ：「シンメトリーが壊れる悲劇」

講師：小野 俊太郎先生

日時：2016 年 9 月 24 日（土）13：30～15：30（開場 13:00）

※入場無料・事前お申込みは不要です。

会場：成蹊大学 3 号館 102 室

[講師プロフィール] 小野俊太郎（おの しゅんたろう）

文芸評論家。1959 年札幌生まれ。シェイクスピア研究を原点に、文化現象としての文学と映画の関係などに研究および著述の幅を広げて活躍中。『ウルトラ Q の精神史』彩流社(2016)、『未来を覗く H・G・ウェルズ』勉誠出版(2016)、『「東京物語」と日本人』松柏社(2015)、『フランケンシュタインの精神史』彩流社(2015)など著書多数。

《ワークショップ・授業内交流については次ページに記載》

【ワークショップ】

大学生と中高生の希望者とワークショップを開催します。昨年のワークショップでは道具を使って想像したものを表現するゲームや今年の演目にちなんでコントを演じるなどのグループワークを行いました。

＜中高生対象＞

日時：9月21日（水）15:40～16:40

場所：成蹊高校 H411 教室

＜大学生対象＞

日時：9月23日（金）13:10～14:40

場所：本館大講堂

【授業内交流】

成蹊小学校、成蹊中学・高等学校および成蹊大学一部の英語授業にゲストスピーカーとして参加し、グループに分かれての会話やミニワークショップが行われます。

小学校では英語の授業の中でネイティブスピーカーの先生と少人数で話す練習を続けてきており、その実践の場としてこの日をとても楽しみにしています。また、自己紹介のほかに自分たちの紹介したい日本のプレゼンテーション（京都・茶道・書道・和食など）を行う予定です。

＜実施日＞

小学校 : 9月27日（火）8:45～12:15

中学・高等学校 : 9月20日（火）13:10～15:00

21日（水）8:30～15:00

大学 : 9月22日（木）9:00～18:10

23日（金）10:45～12:15

26日（月）9:00～18:10

※授業内交流の場所・時間などの詳細については、企画室広報グループまでお問い合わせください。

成蹊学園国際教育センターホームページにも情報を掲載しています。

<http://siis.seikei.ac.jp/shakespeare/>

昨年の様子についても、成蹊学園国際教育センターホームページ「ニュース&トピックス」に掲載しています。

<http://siis.seikei.ac.jp/news/2015/10/2015-6.html>

※取材をご希望の方は、企画室広報グループ(連絡先下記参照)までご連絡ください。

※「公演」と「事前講演会」については、告知欄への掲載をご検討いただけますと幸いです。

以上

《本件に関するお問合せ・ご取材お申込み先》

成蹊学園 企画室 広報グループ(担当:賀屋)

TEL.0422-37-3517 PHONE.080-6502-4309 FAX.0422-37-3704

E-mail.koho@jim.seikei.ac.jp